



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本路線は新所沢跨道橋通りから市道3-1124号線までの延長890mの区間が開通している。今後は、残りの未供用区間について生活道路への通過交通の流入を防ぎ、交通渋滞緩和と周辺住民の安全確保のために重点的に整備を進めて、北野下富線(1工区)との同時開通を目指す。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	202,263千円	187,875千円	①用地取得率	交通渋滞緩和	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所にて観測点を設定して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分～8時30分、(夕)午後5時30分～6時30分に測定する。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②工事着手率	③	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	道路法、都市計画法	0千円	0千円	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	開通後1割削減	2,585台							
	事業の目的及び具体的な内容	2.55人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R元年度目標	R1実績					未開通のため。未整備区間の整備を推進するために、今後も継続的に用地取得と道路建設を進めていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。測定日R1.7.3、川越所沢線 朝川越方面382台、所沢方面291台、夕川越方面329台、所沢方面379台、市道3-5号線 朝狭山方面309台、所沢方面328台、夕狭山方面245台、所沢方面343台		
	新所沢の市街地から狭山市内の主要地方道所沢狭山線を経由延長2,860m、幅員16mの道路で、狭山市の都市計画道路と接続することによる交通の利便性の向上とともに、交通渋滞緩和と周辺住民の安心・安全確保を図るものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①100%	②100%(未供用区間526m)	③	開通後1割削減	2,606台							
	期間	H16年度～	1.00人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R2年度目標					開通後1割削減		
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	177,708千円	145,225千円	①改良整備工事件数(路線数)	単年度改良整備工事実施件数	予算配分に基づき、路線の優先順位を考慮して工事実施件数(目標)を決定する。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②改良整備延長	③	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	道路法、土地収用法、道路構造令	247,423千円	217,512千円	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	3件	3件							
	事業の具体的な内容及び目的	3.65人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R元年度目標	R1実績					目標達成済		
	道路の拡幅や交差点の改良により安全性・利便性の確保と渋滞の緩和を図る。また歩行者の通行が多い道路については、歩道の設置により、誰もが安心・安全に利用できる道路整備を行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①3路線	②347.9m	③	3件	3件							
	期間	昭和25年～	3.43人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R2年度目標					6件		
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市道2-561、2-996号線交差点改良工事が用地取得の遅延により繰越しとなったが、ところざわサクラタウン開業前までに、完了させる。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	147,194千円	46,634千円	①市道2-561号線・市道2-996号線(交差点)用地取得	令和元年度市道2-572号線改良工事市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事市道2-561号線用地取得	COOL JAPAN FOREST構想事業の全体像が流動的で、事業内容が確定できないため、単年度取組目標とする。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②市道2-572号線改良工事	③市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事	H30年度目標	市道2-572	H30実績					R1目標値が未達成の理由・分析		
	道路法、河川法、土地収用法、道路構造令	205,819千円	193,738千円	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	号線 東川護岸工事 市道2-561・996号線 用地測量・詳細設計	2-572号線:70% 2-561、996号線:完了							
	事業の具体的な内容及び目的	1.15人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R元年度目標	市道2-561					R1実績		
	「COOL JAPAN FOREST」構想の拠点施設である「ところざわサクラタウン」を中心とした半径約500m圏内の重点推進エリアにおいて交通環境整備を行うことによって、交通の円滑化を進めて行くものである。現在整備を計画している路線は市道2-572号線、市道2-561号線及び市道2-996号線の3路線である。	9,637千円	臨時職員	0.00人	①令和2年3月31日完了	②令和2年3月30日完成	③次年度へ繰越	号線2-996号線交差点改良工事、市道2-572号線道路改良工事					2-572号線:工事完了 交差点:用地買収完了		
	期間	平成28年～	1.20人	非常勤特別職	0.00人	臨時職員	0.00人	R2年度目標					市道2-561号線用地買収交差点改良工事		

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績 (R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	14,800千円	9,720千円	①市道舗装整備実施件数 ②私道舗装整備実施件数 ③	舗装整備工事実施件数	予算配分に基づき、市民からの要望の申請順に舗装路線数(目標工事件数)を決定する。				令和2年度からの市道の新設舗装進めるにあたり、一定の基準を設け優先順位を付け進めるため、内規を策定した。また、試行的に令和2年度から温暖化対策として保水性舗装を行うこととした。			
	根拠法令	道路法、所沢市私道舗装要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	事業の具体的な内容及び目的	市民からの未舗装道路の舗装要望に基づき、ほこりや騒音、水溜り等を防止し、生活道路としての機能的な整備と良好な住環境の改善を図るため市道及び私道の舗装整備を行うものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			実績	市道1件・私道2件			市道1件・私道2件		目標達成	
	期間	昭25年～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①0件 ②2件 ③	R元年度目標	R1実績	私道2件			私道2件		施工時期の平準化を進めるため、ゼロ債務負担行為による発注を考える。	未舗装道路を舗装化することにより、道路利用の安全性改善を図り、持続可能な道路利用を提供する
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.53人	R2年度目標								どのように貢献したか
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.00人	市道3件・私道2件								
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.85人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人										
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	歩行者と自転車を分離することで安全性を確保した。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを 16. 平和と公平をすべての人に		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	14,202千円	14,202千円	①自転車レーン設置工事	自転車レーン整備の実施延長(m)	歩行者、自転車の通行の安全性を確保するため、道路状況に応じた自転車レーンを整備することが目的になっているため、その整備延長をもって指標とする。				道路状況に応じて自転車レーンを整備した。			
	根拠法令	道路法、道路構造令、道路交通法、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	事業の具体的な内容及び目的	歩道内における歩行者と自転車の接触事故の軽減を目的として歩行者と自転車の分離により、安全性を確保するとともに地域のニーズに応じた自転車通行レーンを整備する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			実績	1,032m			1,815.7m		材料や労務単価の上昇により、当初予定していた延長を達成できなかった。	
	期間	H29～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	① 1111.3m	R元年度目標	R1実績	1,535m			1,111.3m		自転車レーンの設置には、道路幅員がある程度確保されない設置が難しいのでできることから整備していく。	歩行者と自転車との接触事故の軽減を図った。徒歩や自転車での移動促進に寄与した。
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		R2年度目標		2,570m						どのように貢献したか
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合										
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.65人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人										
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市管理の道路照明灯の修繕について、迅速な修繕により適正な維持管理をすることができた。道路照明灯LED化整備事業によるリース物件の道路照明灯の維持管理については、リース事業者と連携し効率的な管理が行われた。	R1年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11. 住み続けられるまちづくりを 13. 気候変動に具体的な対策を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	136,558千円	135,439千円	①必要な修繕灯数 ②修繕実施灯数 ③電気料支払い灯数	修繕完了灯数	目標値: 想定される修繕灯数 実績: 修繕実施灯数				老朽化した分電盤の建替えや、自立柱の塗装を実施し、設備の長寿命化を進めた。また、主要幹線道路の開通や交通量の増加等に対応するよう管理路線の見直しを行い、道路環境整備に努めた。			
	根拠法令	所沢市照明灯設置基準	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	事業の目的及び具体的な内容	【目的】歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図る。 【内容】道路照明灯の新設・維持管理を行う。また、リース対象の8,602灯についてはリース料を支払う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合			実績	200件			128件		目標達成 (目標値は想定される修繕灯数であり、実際の修繕灯数が目標値を下回っているが、修繕灯数自体が少ないことが良いものと判断したため、目標達成と済した。)	
	期間	昭53年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	① 112灯 ② 112灯 ③ 10,626灯	R元年度目標	R1実績	200灯			112灯		歩行者、自転車及び自動車の夜間通行の安全確保。円滑かつ快適な利用を図るため、道路照明灯の効率的な設置・維持管理を行っていく。 また、非LED灯(デザイン灯等)のLED化を進めている。	リース対象とならなかった蛍光灯や水銀灯のLED灯を進めている。
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		R2年度目標		150灯						どのように貢献したか
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合										
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.50人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.00人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献	
			会計	投入コスト	活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	防犯灯補助金については、各自治会等からのLED化の要望が多く、すべての要望に応えることはできなかったが、防犯灯LED化整備事業と合わせて、LED化の促進を図ることで、ほとんどの防犯灯をLED灯にすることができ、安全なまちづくりに資することができた。	R1年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	44,290千円	43,575千円	①新設費補助金補助灯数	補助金交付額	目標値: 予算額 実績: 補助金交付額	R1年度に改善した点			11. 住み続けられるまちづくりを	
	根拠法令	所沢市防犯灯補助要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②維持管理費補助金補助灯数						44,290千円	43,752千円
	事業の目的及び具体的な内容	【目的】夜間における道路上的での犯罪被害の防止。 【内容】自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し新設費(交換を含む)及び維持管理費の一部を助成することにより防犯灯の設置が促され、防犯効果の増大が図られるとともに、安全な都市空間を実現することになる。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③リース防犯灯数	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
	期間	昭和53年度～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①補助額 3,125千円 補助灯数 131灯	R元年度目標	R1実績	目標達成			防犯灯LED化整備事業により、ほとんどの防犯灯がLED灯となったが、デザイン灯や増設については、補助金の活用を検討している自治会・町内会等があるため、LED化率100%を達成するために、予算の範囲内で効率的な補助金の交付方法を検討している。	補助金交付により地域の防犯灯設置を促進し、住みやすい住環境づくりに寄与している。
	昭53年度～		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②補助額 20,343千円 補助灯数 13,264灯	R2年度目標	R2実績					
				③7,068灯	24,006千円	23,291千円						
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	大径木化したケヤキなどの街路樹については、沿道住民からの要望で強めに剪定を行うなどしているため、管理状態にバラツキがある。また、樹木診断を実施し、倒木の可能性がある街路樹については伐採等を行い、事故防止に努める。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	106,900千円	106,737千円	①高・中・低木剪定数	街路樹剪定・除草実施延長(km)	道路の景観や道路交通の安全確保を目的とするため街路樹の剪定や除草実施延長を指標とする。	R1目標値が未達成の理由・分析			15. 陸の豊かさを守ろう	
	根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②除草						H30年度目標	H30実績
	事業の目的及び具体的な内容	幹線道路等の樹木剪定や植樹帯の除草を定期的に行い、街路樹の目的や機能を十分発揮させることにより、道路環境の整備はもとより良好な都市景観の形成と快適な生活空間を創出する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③樹木診断	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
	期間	S49～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①3,698本	R元年度目標	R1実績	厳しい財政状況ではあるが、要望の多い路線を優先して実施しているため。			街路樹維持管理指針に沿った、維持管理の計画を立てる。	都市景観の形成や防災の機能を保ち、人のためのまち(空間)スプロットアンスを創出した
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②52,986㎡	R2年度目標	R2実績				街路樹診断、職員による目視での点検を継続して行い、倒木事故を未然に防ぐ。	
				③116本	57	34						
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民からの通報や道路パトロールにより、道路の危険状況を把握し、迅速に修繕を行うことにより、事故防止に努める。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	621,428千円	621,189千円	①要望・通報件数	要望・通報に対する処理割合	老朽化した道路を修繕することが目的のため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。	R1目標値が未達成の理由・分析			修繕方法が個人では判断が難しい場合など、現場の状況等をグループ内で話し合い、より効果的かつ経済的となるよう工夫を凝らしている。	
	根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②道路補修改修工事						H30年度目標	H30実績
	事業の目的及び具体的な内容	老朽化が進行した道路や、機能が低下した道路施設を計画的に修繕し、道路利用者の安全を確保するとともに、沿道の生活環境の改善を目指す。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③道路清掃	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
	期間	S25～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①3,165件	R元年度目標	R1実績	多様化・複雑化している要望が多く、解決にいたるまで多くの時間を要する案件や財政状況により年度内に完了できていない案件があるため。			道路の老朽化及び市民要望ともに今後も増加していく傾向にあるため、修繕や工事の優先順位を定め計画的に実施していく必要がある。	道路の保全と通行の安全確保を行った。
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②9路線 1367.6m	R2年度目標	R2実績					
				③路面 11路線 23.9km 枒 75か所 U字溝 317m	100%	97.9%						

